

## 第 17 回 100 年史誌部会 議事録

日時: 2007 年 7 月 18 日(水)16 時～

場所: 重要文化財 2 階 会議室(旧教授会室)

出席者: 横山部会長、栗野、高畑、松田、大町、金子、小山、神戸、山崎各委員、小室編集局員

欠席者: 平田、小池、赤平、片山各委員、斎藤編集補助員

### 【配布資料】

- [資料 17-1] 山形大学工学部 100 年史編集局 ウェブサイト
- [資料 17-2-1] 物質化学工学科 簡易年表
- [資料 17-2-2] 電気・電子・応用システム史の編纂手順と方針
- [資料 17-2-3] 工学部百年史資料 (生体センシング機能工学専攻)
- [資料 17-3-1] データ整理一覧(100 年史編集局)
- [資料 17-3-2] 統計的データ(戦前編) 3-4 入学試験制度の変遷
- [資料 17-3-3] 在校生出身府県別表
- [資料 17-4] Journal 編纂マップ 第 2 章資料編 時系列で構成

### I) 報告事項

1. ホームページの開設について小室委員が [資料 17-1] に基づき報告した。

### II) 協議事項

#### 1. 100 年史

- (1) 各学科、専攻、ユニット史の編纂手順と方針について各委員から報告や説明がなされた。

- ① **機能高分子工学科**史の編纂に関する現況の報告と今後の方針について栗野委員が報告した。
- ② **物質化学工学科**史編纂について高畑委員が[資料 17-2-1]に基づき説明した。
- ③ **機械システム工学科**史の編纂手順と方針について大町委員が前回までの資料を元に先生方の出入りや流れ、研究に関して整理できるであろう事。この作業を通して学科史としての骨格が出来ていくであろう旨説明があった。更に、執筆者の人選を学科会議に議題として提出し、他の先生方の知恵をいただくという方針の説明がなされた。大町委員のこれらの説明に対して横山部会長から具体的に叩き台を作るよう要望が出された。
- ④ **電気・電子・応用システム**史の編纂手順と方針について金子委員が [資料 17-2-2] に基づき説明した。この時、原稿の執筆依頼を部会長名で出したいという要望が出され、横山部会長から統一的な依頼文が必要であるとの認識が語られた。また、金子委員が、準備を今年中に終わらせる旨説明した。
- ⑤ **生体センシング機能工学専攻**史の編纂手順と方針について神戸委員が[資料 17-2-3] をもとに説明した。議事録はまだ入手できないこと、専攻史の原稿は 7 月末をめどに和泉専攻長が執筆すること、内容は沿革、人事、組織、カリキュラムの変遷が中心になり、国際会議を 5 年目に行ったこと、独立専攻の建物ができて移ったことも含めて記述する旨、報告があった。
- ⑥ **工業会**史の編纂手順と方針について山崎委員が説明した。工業会のウェブサイトには工業会のあゆみが平成 16 年までであるので活用する。参考資料は工業会誌、目でみる 80 年史、山形大学工学部 65 年史、山形大学 50 年史、山形大学工学部 80 年史などを活用する。内容は米沢工業会のあゆみを主なイベントをストーリーにして歴史を記述する。

- (2) 戦前編の統計的データ整理について小室編集局員から報告と説明があった。

- ① [資料 17-3-2]に基づき、**入学試験制度の変遷**に関して説明があった。
- ② [資料 17-3-3]に基づき、**在校生の出身府県別表**から学科による特徴が見えるとの解説があった。
- ③ 今後、関係法令についても調べる、と方針説明があった。
- ④ 得られた情報、整理した情報はウェブサイトで閲覧できるようにする他、史誌編纂室にも収めるように進める、と報告があった。

## 2. 100年誌

- (1) 100年誌について松田 J. 班長から[資料 17-4]に基づき説明があった。
- (2) 表に関して、応用生命は電情系に一本化欲しい旨、生体センシング専攻や工業会を加える旨、物質系は高分子系に変更して欲しい旨指摘があった。
- (3) また、独法化は 2004 年からである旨指摘があった。
- (4) 以上の指摘事項に基づき[資料 17-4]を訂正した後、エクセルファイルとして部会員に配布し直す。以前各学科より提案されたキーワードを学科毎に年表に記入し松田まで返送してもらいたい旨、要望が出された。
- (5) また、小池委員に Journal も手伝ってもらいたい旨要望が出された。

## 3. その他

- (1) 今後の方針について
  - 1) Journal チームはキーワード表を充実させる。
  - 2) History チームは各学科で作業を進め、でき上がったものを共有する。
  - 3) 編集局は小室局員を中心に地道なデータ整理を進める。

## III) 次回の会議について

9月5日(水) 16:00 ~ 重文2階 会議室(旧教授会室)